

# 市場概要

令和3年度



郡山市総合地方卸売市場



## 目次

1	郡山市の概要	1
2	郡山市総合地方卸売市場の役割	3
3	市場の沿革	3
4	市場施設の概要	5
5	市場の構成者	6
6	市場の流通圏域	6
7	開場日・開場時間	7
8	市場見学者	7
9	組織図・事務分掌	8
10	市場運営協議会	9
11	入場業者及び団体	10
12	令和3年度郡山市総合地方卸売市場特別会計予算	11
13	市場施設使用料	12
14	部門別・年度別取扱高推移表	13
15	令和2年度取扱実績	15
16	令和2年度市場利活用促進事業	22



## (2) 市章



郡山市の市章は「山」の字の小篆（しょうてん）を図案化したもので、藩政時代から郡山代官支配下の「郡山」の標識として長い間使用されてきたものです。

## (3) シンボルマーク



郡山の「郡」の文字を力強くデザインしており、中心の円は、「輝く太陽」、楕円は郡山市の「豊かな緑が映る猪苗代湖」を表し、流れる青いラインは「安積疏水」、緑のラインはそれによって育まれる「自然」を表しています。

## (4) 市の花・木・鳥

郡山市の花：ハナカツミ



芭蕉の「奥の細道」の昔から伝統的な花として親しまれ、清楚な趣をそなえた、心にうるおいを与えるまちづくりにふさわしい花です。

郡山市の木：ヤマザクラ



樹齢が長く雄々しく強い樹木で、緑化促進木として緑あふれるまちづくりにふさわしい木です。

郡山市の鳥：カッコウ



鳴き声そのまま鳥名になったカッコウ。野鳥の生息地に多く渡来し、自然保護の象徴ともいえる、緑のまちづくりにふさわしい鳥です。

## 2 郡山市総合地方卸売市場の役割

地方卸売市場は、卸売市場法に基づき開設された日常生活に不可欠な野菜、果実、魚介類などの生鮮食料品や花きを取り扱う卸売市場で、海外を含め各地から集荷されたさまざまな商品が、卸売等により小売店や飲食店などへ販売され、一般の消費者へ届けられています。

郡山市総合地方卸売市場は、福島県中央部の人々の拠点市場として建設された、全国の公設地方卸売市場において、最大の施設規模を誇る郡山市営の総合卸売市場です。

郡山市総合地方卸売市場は、流通圏域において、次の5つの機能を担っています。

(1) 集荷及び分荷機能

豊富な品揃えと速やかな仕分けが行われます。

(2) 価格の適正化機能

公開取引による公平な競争、需要と供給に基づく公正な価格形成が行われます。

(3) 流通の円滑機能

生産者の販路の提供、迅速かつ確実な代金決済が行われます。

(4) 市民生活の安定機能

新鮮で安全な品物の安定供給が行われます。

(5) 情報の発信機能

需給に関する情報を収集して、産地や小売店などへ伝達されます。

## 3 市場の沿革

旧市場は、昭和45年に郡山市が開設者となり郡山市中央市場の名称で、現在のJR郡山駅に近い富久山町に開場しました。

昭和47年には郡山市地方卸売市場と改称し、郡山市の生鮮食料品流通の中核基地として業務を行ってきましたが、施設が老朽化、狭あい化し、市場周辺の道路も慢性的な交通渋滞が発生していたことから、早急な施設の整備拡充及び移転の必要に迫られるようになりました。

平成3年12月、郡山市市場整備促進検討委員会を設置し、新市場の検討を始め、平成8年12月、新市場は第6次福島県卸売市場整備計画に地域拠点市場として組み込まれました。

平成11年3月、これからの高速物流時代を考慮して東北自動車道郡山南インターチェンジから約3分に位置する大槻町の現在地において新市場の建設工事に着手、平成13年12月施設建設工事竣工、平成14年4月1日郡山市を中心に周辺30市町村（開場当時）約67万5千人を対象に青果、水産物及び花きを供給する「郡山市総合地方卸売市場」が開場しました。

## 市場の略年表

昭和45年 4月	郡山市が開設者となり、「郡山市中央市場」を富久山町に開場
昭和47年 9月	「郡山市地方卸売市場」に改称
平成 3年12月	「郡山市市場整備促進検討委員会」が設置され新市場の検討を開始
平成 4年12月	郡山市内の 9 卸売業者が「郡山市新総合卸売市場整備促進協議会」を設立
平成 5年 3月	郡山市新総合卸売市場整備促進協議会が発展的に解消し須賀川市内の 5 卸売業者を加えた「県中地区新総合卸売市場整備促進協議会」を設立
平成 8年12月	「第 6 次福島県卸売市場整備計画」に新市場を地域拠点市場として整備することが組み込まれる
平成11年 3月	施設建築物工事着工
8月	県中地区新総合卸売市場整備促進協議会が発展的に解消し新市場入場予定業者で構成する「仮称郡山市総合地方卸売市場入場準備協議会」設立
平成13年12月	「郡山市総合地方卸売市場条例」可決、施設建築物工事竣工
平成14年 4月	郡山市農林部内に「総合地方卸売市場管理事務所」を設置し、「郡山市総合地方卸売市場」を開場
9月	第 1 回市場まつり開催
10月	常陸宮両殿下御視察
平成16年 9月	郡山市制施行 80 周年・合併 40 年記念第 4 回市場まつり開催
平成18年12月	第 1 回市場の朝市開催
平成21年 9月	市場開放として「市場の朝市」を毎月開催
平成25年 2月	開場 10 周年記念市場まつり開催
7月	学識経験者らで構成する「市場あり方検討会」を設置し、市場の運営及び市場資産の有効活用などについて協議
11月	第 50 回記念市場の朝市開催
平成26年 9月	郡山市制施行 90 周年・合併 50 年記念第 60 回「市場の朝市」開催
平成27年 9月	「市場あり方検討会」から市場資産の活用及び指定管理者の導入などについての提言書が提出される
平成28年11月	「第 9 次福島県卸売市場整備計画」において「地域拠点市場」に位置づけられる
12月	4 ケ年計画で卸売場の照明の LED 化に着手
平成29年 9月	開場 15 周年記念市場まつり開催
平成30年 1月	第 100 回記念「市場の朝市」開催
3月	郡山市総合地方卸売市場経営展望の策定
令和元年10月	使用料の改定（売上高使用料を廃止し施設使用料（面積割）に一本化、減免措置の廃止）
令和 2年 3月	新型コロナウイルス感染症の影響により「市場の朝市」の開催を中止
3月	卸売市場法の抜本的改正を踏まえ、郡山市総合地方卸売市場条例を改正（施行日：令和 2 年 6 月 21 日）
令和 2年 6月	「市場の朝市」に代わる新しい生活様式に対応した「ドライブスルー市場」を開始
令和 3年 3月	郡山市総合地方卸売市場経営戦略を策定

## 4 市場施設の概要

- (1) 名称：郡山市総合地方卸売市場
- (2) 開設者：郡山市
- (3) 住所：郡山市大槻町字向原 114 番地
- (4) 取扱品目
  - ・青果部：野菜、果実及びこれらの加工品を主たる取扱品目とし、規則で定める生鮮食料品等を従たる取扱品目
  - ・水産物部：生鮮水産物及びその加工品を主たる取扱品目とし、規則で定める生鮮食料品等を従たる取扱品目
  - ・花き部：花き及びその加工品を主たる取扱品目とし、規則で定める生鮮食料品等を従たる取扱品目
- (5) 施設の規模
  - ・敷地面積 196,442 m<sup>2</sup>
  - ・建築面積 34,532 m<sup>2</sup>
  - ・延床面積 41,312 m<sup>2</sup>
  - ・卸売場面積 12,919 m<sup>2</sup>
  - ・構造 鉄骨造、鉄筋コンクリート造
- (6) 施設・設備の特徴
  - ① 市場敷地内は、緑をふんだんに取り入れ、環境や景観へ配慮することにより、憩いと安らぎを感じることができる空間を形成しています。
  - ② 青果・水産・花きの各棟では、動力を使用せずに人力でシャッターを開閉できるオーバースライダーを導入し、売場上部にはハイサイドライトを兼ねた自然換気システム(スウィンドウ)を設け、自然の力を積極的に取り入れた、環境に優しく、併せてランニングコストの低減を図る工夫をしています。

また、人と構内車両を考慮した明確な売場道線を設けることで、市場内の安全性を確保し、水産棟には「低温売場」、「低温加工所」や花き棟には温度を一定に保つ「定温倉庫」を設置し、品質管理や衛生面に万全の体制を整えています。
  - ③ 場内 LAN (構内通信網) システムを整備し、市況データの収集や表示に活用しています。
  - ④ 市場内の省電力化を図るため、平成 28 年度から 4 ヶ年計画で、卸売場照明を LED 化しました。

また、開場から 19 年が経過し施設の老朽化が進んでいることから、令和元年度より年次計画で冷凍・冷蔵設備、空調設備等の改修を進めています。
  - ⑤ 市場経営の安定化と新たな B to B ビジネス構築による市場活性化を推進するため用地の活用を積極的に進めています。

## 5 市場の構成者

- (1) 開設者：県知事の認定を受け、地方卸売市場を開設し、公正な取引のための指導・監督及び市場施設の維持管理をする者(郡山市)
- (2) 卸売業者：市長の許可を受け、出荷者から委託された品物又は自ら買い付けた品物を市場内でせり売等により仲卸業者や買受人に販売する者（青果部 3 社・水産物部 1 社・花き部 1 社）
- (3) 仲卸業者：市長の許可を受け、卸売業者から買受けた品物を小口に分け買受人に販売する者（青果部 5 社・水産物部 5 社・花き部 1 社）
- (4) 買受人：市長の承認を受け、市場内でせり売に参加し、卸売業者や仲卸業者から品物を買受ける者（青果部 344 人・水産物部 274 人・花き部 131 人・合計 749 人）
- (5) 関連事業者：市長の許可を受け、市場機能充実に図り市場利用者に便益を提供するための業務を営む者（16 社）

(業者数及び買受人数は令和 3 年 4 月 1 日現在)

## 6 市場の流通圏域

- (1) 流通圏域 22 市町村
  - ・ 福島県中部 12(郡山市、須賀川市、田村市、岩瀬郡、田村郡、石川郡)
  - ・ 〃 西部 1(猪苗代町)
  - ・ 〃 南部 8(白河市、西郷村を除く西白河郡、東白川郡)
  - ・ 〃 北部 1(本宮市)
- (2) 供給対象人口 約 69 万人（令和 3 年 4 月 1 日現在）

## 7 開場日・開場時間

(1) 市場は、次に掲げる日を除き毎日開場する。

- ① 日曜日（1月5日及び12月27日から12月30日までの日曜日を除く）
- ② 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- ③ 1月2日から1月4日まで及び12月31日
- ④ 市長が市場業務の運営上特に必要があると認めるときは、休場日に開場し、又は休場日以外の日に休場することができる。

(2) 開場時間

午前零時から午後12時まで

(3) 販売開始時刻(セリ開始時刻)

- ・ 水産物部：午前6時
- ・ 青果部：午前7時
- ・ 花き部：午前9時

(4) 開場日数（令和3年）

- ・ 水産物部：257日
- ・ 青果部：253日
- ・ 花き部：244日

## 8 市場見学者（令和2年度実績）

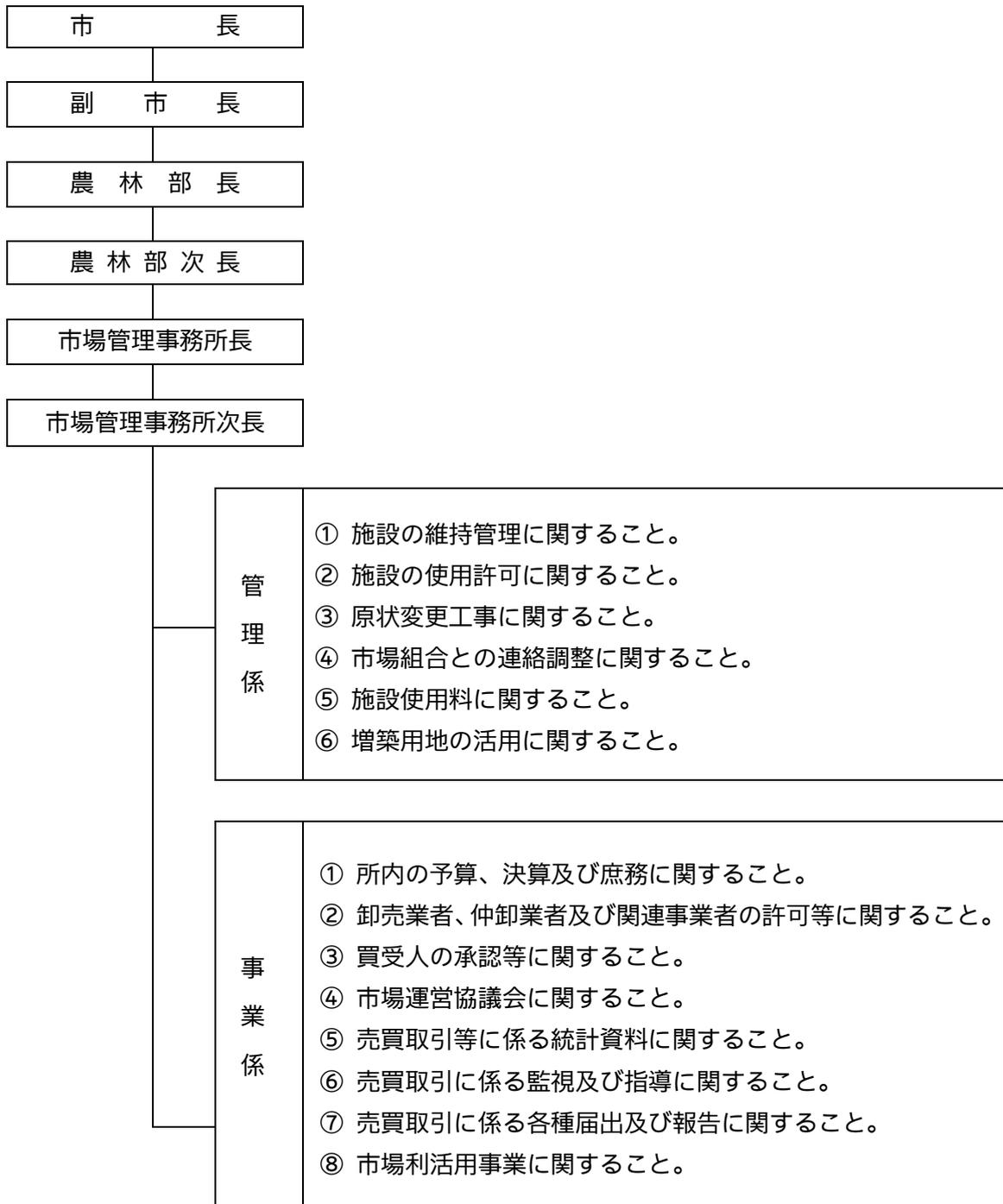
卸売市場の役割や流通の仕組みについて理解を深めていただくため、また市民に開かれた市場を目指して、小学校社会科見学等の施設見学の受け入れを行っています。

令和2年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図る観点から、施設見学の受け入れを中止しました。

項目	行政機関	一般団体	学校関係	合計
件数	0件(0)	0件(4)	0件(25)	0件(29)
人数	0人(0)	0人(120)	0人(1,670)	0人(1,790)

※( )内の数字は令和元年度の実績

## 9 組織図・事務分掌



## 10 市場運営協議会

市場運営協議会は、市場の適正かつ円滑な運営を図るため、郡山市総合地方卸売市場条例第82条に基づき設置された機関です。

委員数は18名以内、委員の任期は2年で、会長及び副会長を置くことに規定されています。

### 郡山市総合地方卸売市場運営協議会委員名簿

(R3.4.1 現在)

役職	氏名	選任区分	所属及び役職等
会長	遠藤 喜志雄	卸売業者	(株)郡山水産 代表取締役会長
副会長	橋本 孝子	生産者	福島さくら農業協同組合 郡山地区 女性部長
委員	遠藤 喜一	生産者	(有)郡山アグリサービス 会長
〃	降矢 敏朗	生産者	(有)降矢農園 代表取締役
〃	松岡 正	消費者	(株)エヌジェイアイ レストラン営業部 副部長
〃	小林 裕子	消費者	郡山食品工業団地協同組合 理事
〃	伊藤 雄一	学識経験者	(株)東邦銀行 大槻支店 支店長
〃	則藤 孝志	学識経験者	国立大学法人福島大学 食農学類 准教授
〃	岡部 聡子	学識経験者	郡山女子大学 食物栄養学科准教授
〃	内藤 清吾	学識経験者	合同会社 IT コンシェルジュ 代表社員
〃	小松 弘毅	卸売業者	(株)山一中央青果卸売市場 常務取締役
〃	國分 靖元	卸売業者	(株)マルケイ青果市場 代表取締役社長
〃	阿部 吉作	卸売業者	(株)郡山大新青果 代表取締役
〃	菅野 栄一	卸売業者	郡山花き(株) 代表取締役
〃	山ノ井 秀夫	仲卸業者	郡山市場水産仲卸会 会長
〃	吉田 明	仲卸業者	郡山青果物仲卸組合 組合長理事
〃	増子 寛治	買受人	郡山海産物商業協同組合 理事長
〃	渡邊 佳彦	関連事業者	郡山市総合地方卸売市場 関連店舗代表

※敬称略

## 1.1 入場業者及び団体

(R3.4.1 現在)

部門	区分	会社名	代表者名
青果部	卸	株式会社山一中央青果卸売市場	代表取締役 岩崎 学
		株式会社マルケイ青果市場	代表取締役社長 國分 靖元
		株式会社郡山大新青果	代表取締役 阿部 吉作
	仲卸	マスキン青果株式会社	代表取締役 増子 隆久
		株式会社大慶青果	代表取締役社長 吉田 明
		株式会社丸青過足青果	代表取締役社長 過足 美智子
山一ベジフル株式会社		代表取締役 増岡 芳文	
		有限会社アケボノ青果	代表取締役 永島 紀俊
水産物部	卸	株式会社郡山水産	代表取締役 遠藤 一弥
	仲卸	株式会社八代水産	代表取締役 八代 晴意
		株式会社東心水産	代表取締役 山ノ井 一也
		株式会社郡山第一水産	代表取締役 土屋 常正
		株式会社山吉	代表取締役 山吉 隼人
		株式会社共栄水産	代表取締役 庄子 信夫
花き部	卸	郡山花き株式会社	代表取締役 菅野 栄一
	仲卸	有限会社花きち	代表取締役 渡辺 佳子
関連事業者		郡山冷蔵製氷株式会社	代表取締役 安藤 昇
		株式会社郡山市場配送センター	代表取締役 遠藤 喜志雄
		株式会社ミヤパック郡山営業所	代表取締役 曾我 和彦
		株式会社鈴畜中央ミート	代表取締役社長 大沼 由弘
		株式会社福島中央鶏卵市場	代表取締役 室野井 豪二
		郡山海産物商業協同組合	理事長 増子 寛治
		郡山青果商業協同組合	理事長 橋本 和夫
		有限会社丸大商事	代表取締役 上ノ内 信之
		株式会社丸佳	代表取締役 渡邊 佳彦
		有限会社フローラル・ビュー	代表取締役 渡辺 忠良
		有限会社市場食堂	代表取締役 会田 裕一
		郡山市総合地方卸売市場精算株式会社	代表取締役 遠藤 喜志雄
		株式会社ワイ・ピー・シー	代表取締役 矢野倉 健
		株式会社松栄運送	代表取締役 山崎 吉太郎
		株式会社マルエム	代表取締役 過足 和茂
	東日本フード株式会社	代表取締役社長 辰田 浩二	
各種団体		郡山市総合地方卸売市場組合	組合長 理事 遠藤 喜志雄
		郡山青果物仲卸組合	組合長 理事 吉田 明
		郡山市場水産仲卸会	会長 山ノ井 秀夫

※敬称略

## 1 2 令和3年度郡山市総合地方卸売市場特別会計予算

### 《歳入の部》

(単位：千円)

科 目	予 算 額	説 明
使用料及び手数料	261,496	
使 用 料 手 数 料	261,494 2	施設使用料、占用料 車庫証明手数料
繰入金	512,180	
一般会計繰入金	512,180	
諸収入	104,396	
雑 入	104,396	私用光熱水料 私用電話料、その他
市債	795,300	
施設整備事業債	546,900	
資本費平準化債	248,400	
合 計	1,673,372	

### 《歳出の部》

(単位：千円)

科 目	予 算 額	説 明
総務費	862,888	
総務管理費	314,602	管理事務費、職員給与費
施設費	548,286	施設整備事業費
公債費	810,484	
公債費	810,484	償還元金、償還利子
合 計	1,673,372	

### 1.3 市場施設使用料

#### (1) 施設使用料

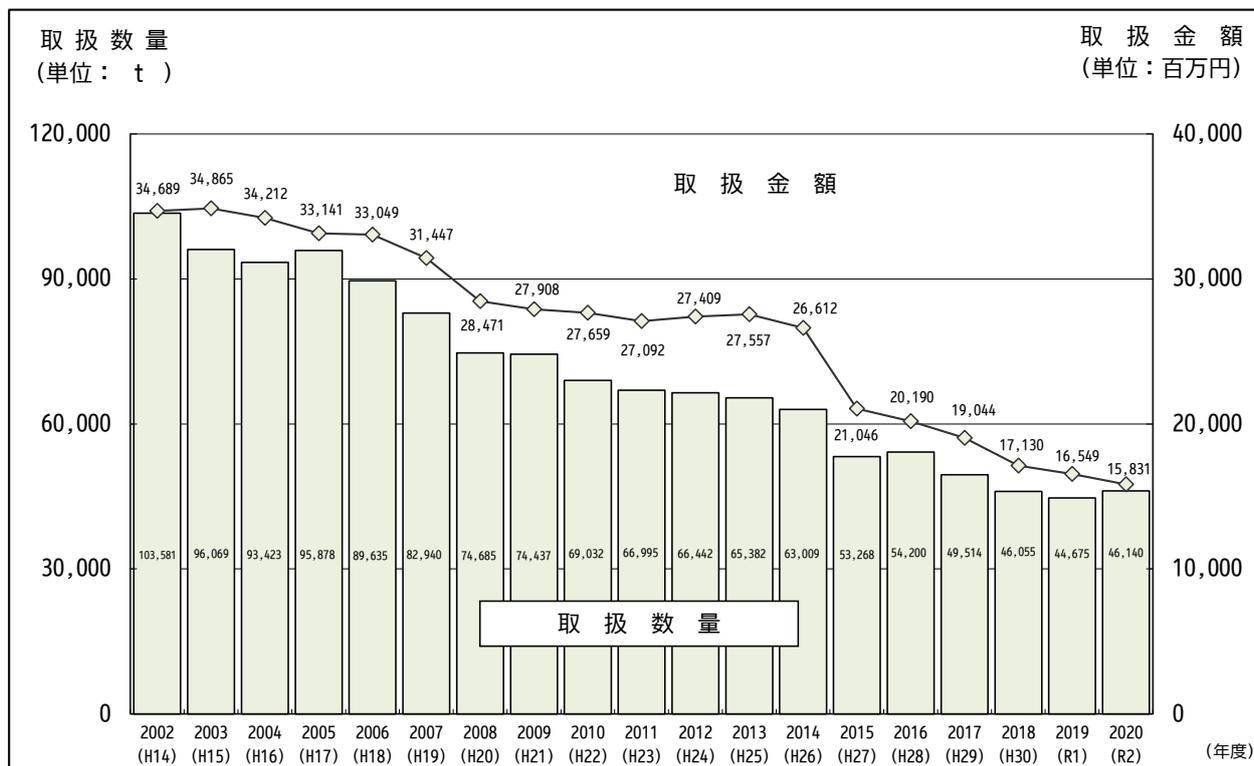
種 別		金 額	
卸 売 場 使 用 料	青 果 部	使用面積の合計が500平方メートル以下の場合	1平方メートルにつき 月額890円
		使用面積の合計が500平方メートルを超え1,500平方メートル以下の場合	1平方メートルにつき 月額445円
		使用面積の合計が1,500平方メートルを超える場合	1平方メートルにつき 月額223円
	水 産 物 部	使用面積の合計が500平方メートル以下の場合	1平方メートルにつき 月額996円
		使用面積の合計が500平方メートルを超え1,500平方メートル以下の場合	1平方メートルにつき 月額498円
		使用面積の合計が1,500平方メートルを超える場合	1平方メートルにつき 月額249円
	花 き 部	使用面積の合計が500平方メートル以下の場合	1平方メートルにつき 月額862円
		使用面積の合計が500平方メートルを超える場合	1平方メートルにつき 月額431円
	仲 卸 売 場 使 用 料	青 果 部	1平方メートルにつき 月額
水 産 物 部		1平方メートルにつき 月額	1,367円
花 き 部		1平方メートルにつき 月額	901円
買 荷 保 管 所 使 用 料	青 果 部	1平方メートルにつき 月額	400円
	水 産 物 部	1平方メートルにつき 月額	385円
	花 き 部	1平方メートルにつき 月額	370円
倉 庫 使 用 料	青 果 部	1平方メートルにつき 月額	489円
	水 産 物 部	1平方メートルにつき 月額	450円
	花 き 部	1平方メートルにつき 月額	375円
冷 蔵 庫 使 用 料	青 果 部	1平方メートルにつき 月額	707円
	水 産 物 部	1平方メートルにつき 月額	896円
加 工 施 設 使 用 料	青 果 部	1平方メートルにつき 月額	465円
	水産物部(低温)	1平方メートルにつき 月額	859円
	水産物部	1平方メートルにつき 月額	482円
パ ナ ナ 発 酵 棟 使 用 料		1平方メートルにつき 月額	567円
業 者 事 務 所 使 用 料		1平方メートルにつき 月額	651円
関 連 商 品 売 場 使 用 料		1平方メートルにつき 月額	632円
駐 車 場 使 用 料		1台につき 月額	1,000円
空 地 使 用 料		1平方メートルにつき 月額	70円

#### 備考

- 1 使用面積に1平方メートル未満の端数があるときは、これを1平方メートルとして計算する。
- 2 使用期間に1月に満たない日数があるときは、月額使用料をその月の日数で除した額に、当該日数を乗じて得た額とする。

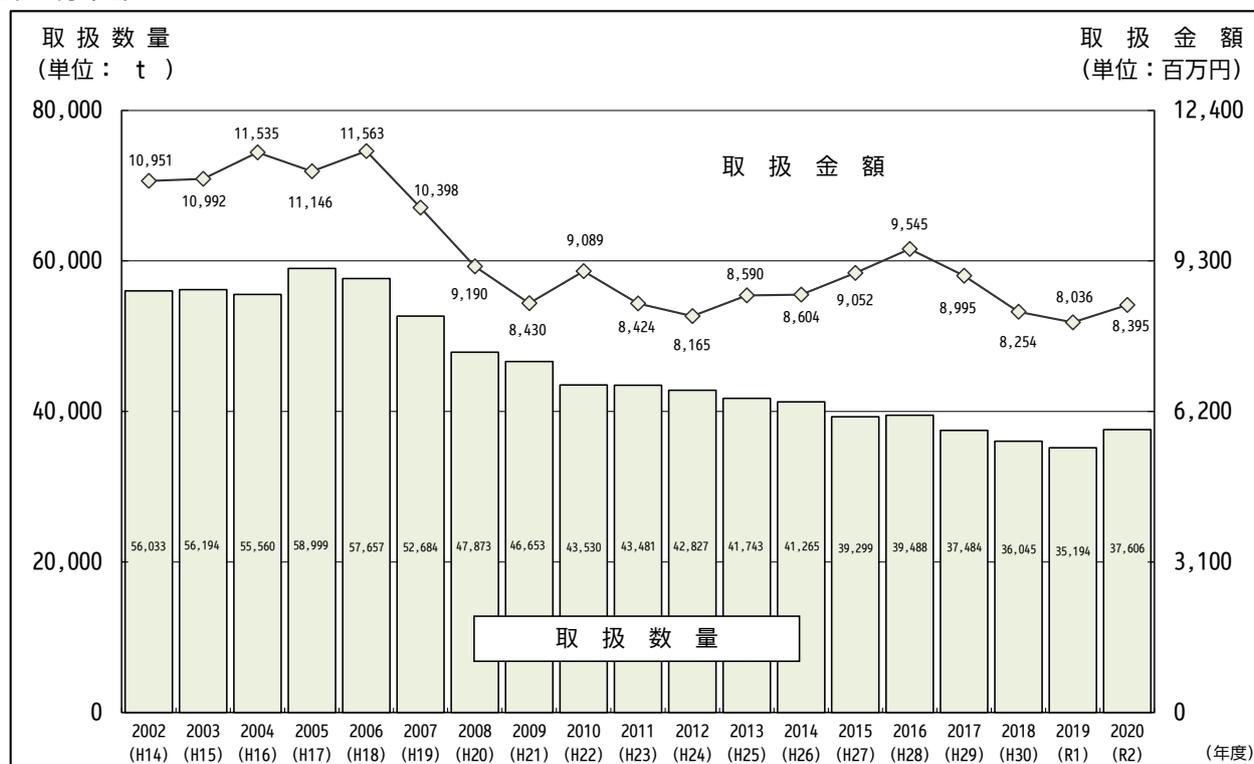
## 1.4 部門別・年度別取扱高推移表

### (1) 青果部・水産物部・花き部合計

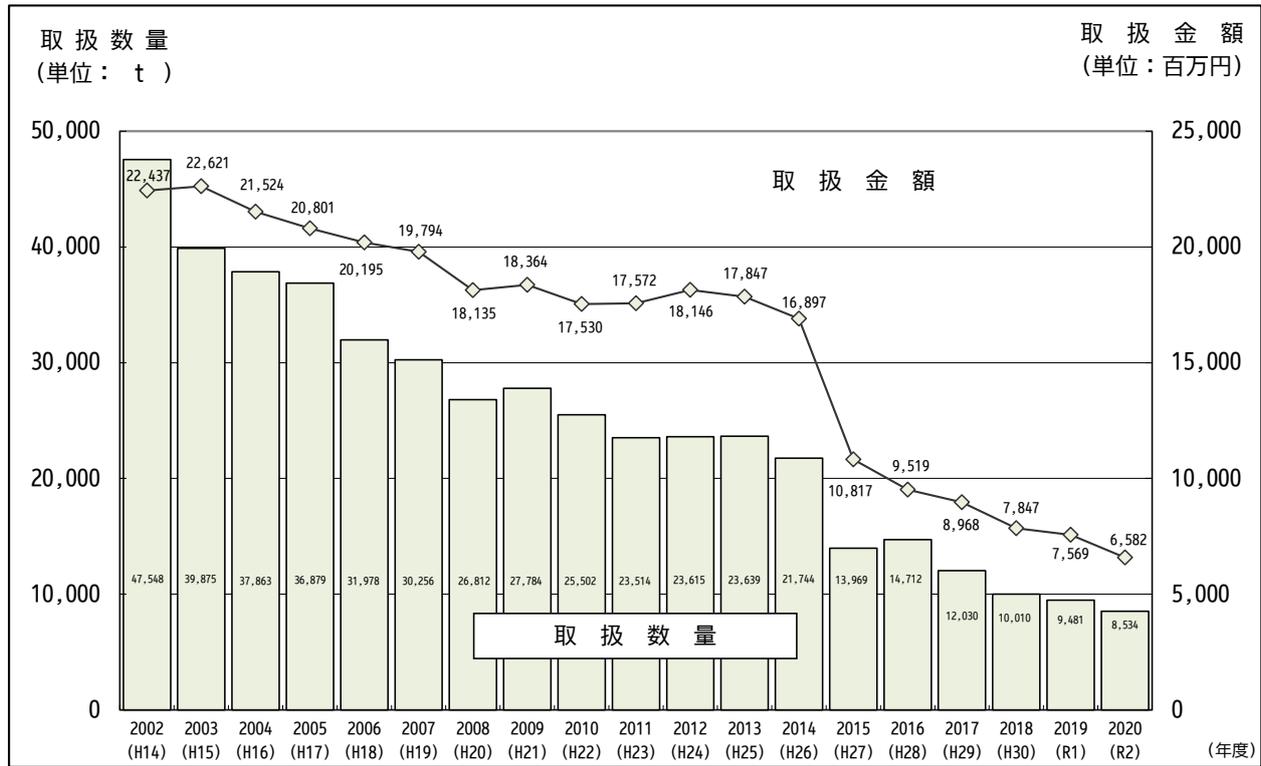


※取扱数量は花きの数量を除く

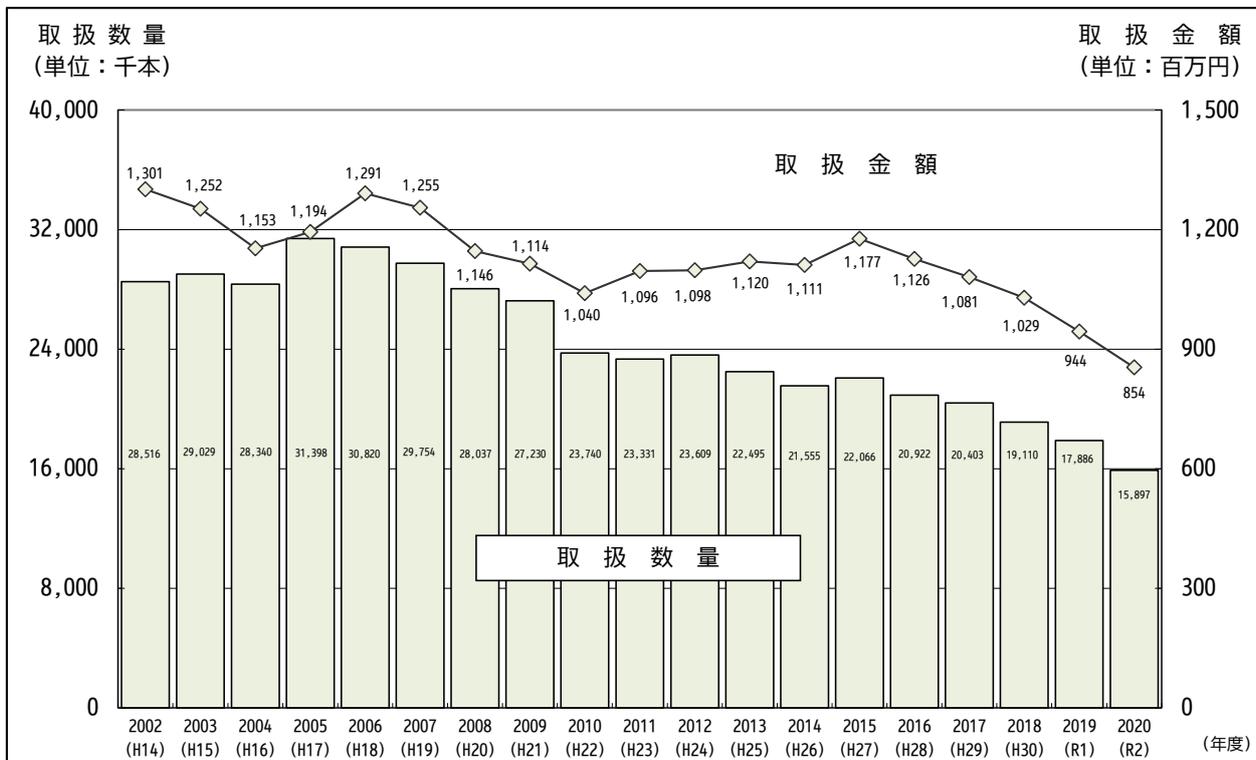
### (2) 青果部



(3) 水産物部



(4) 花き部

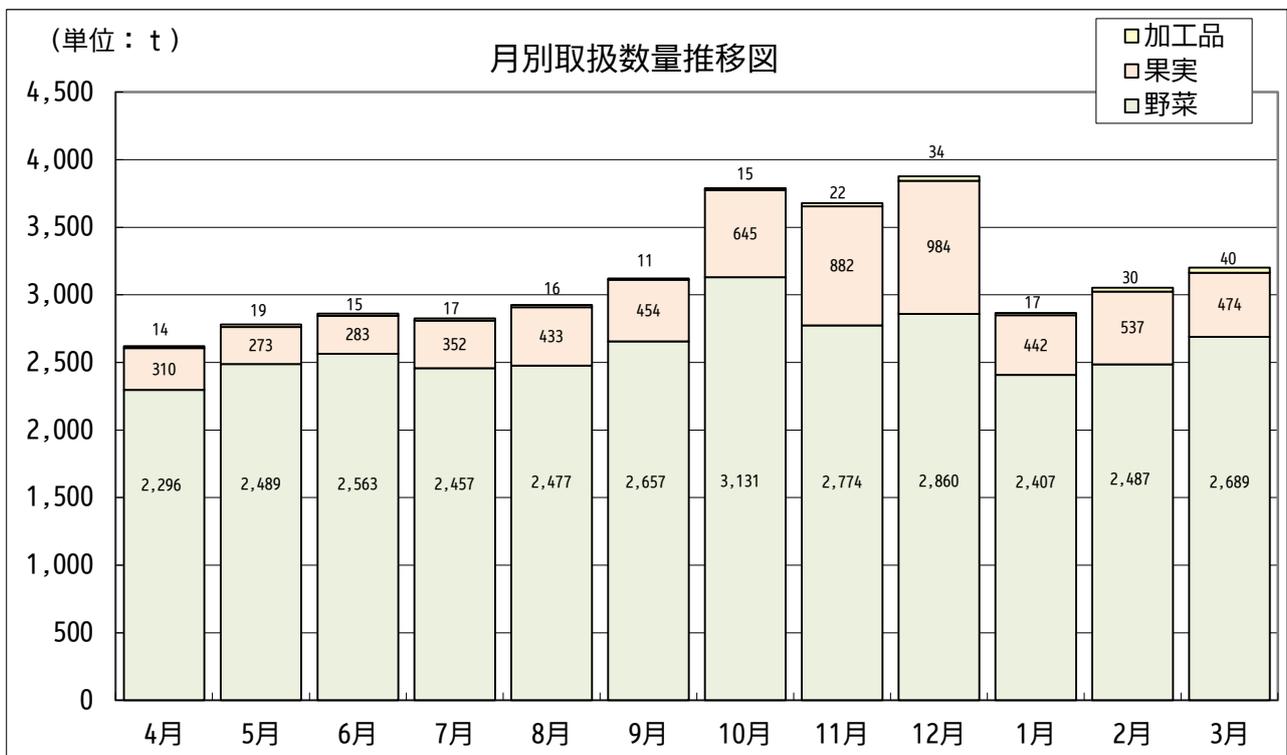


## 1.5 令和2年度取扱実績

### (1) 青果部

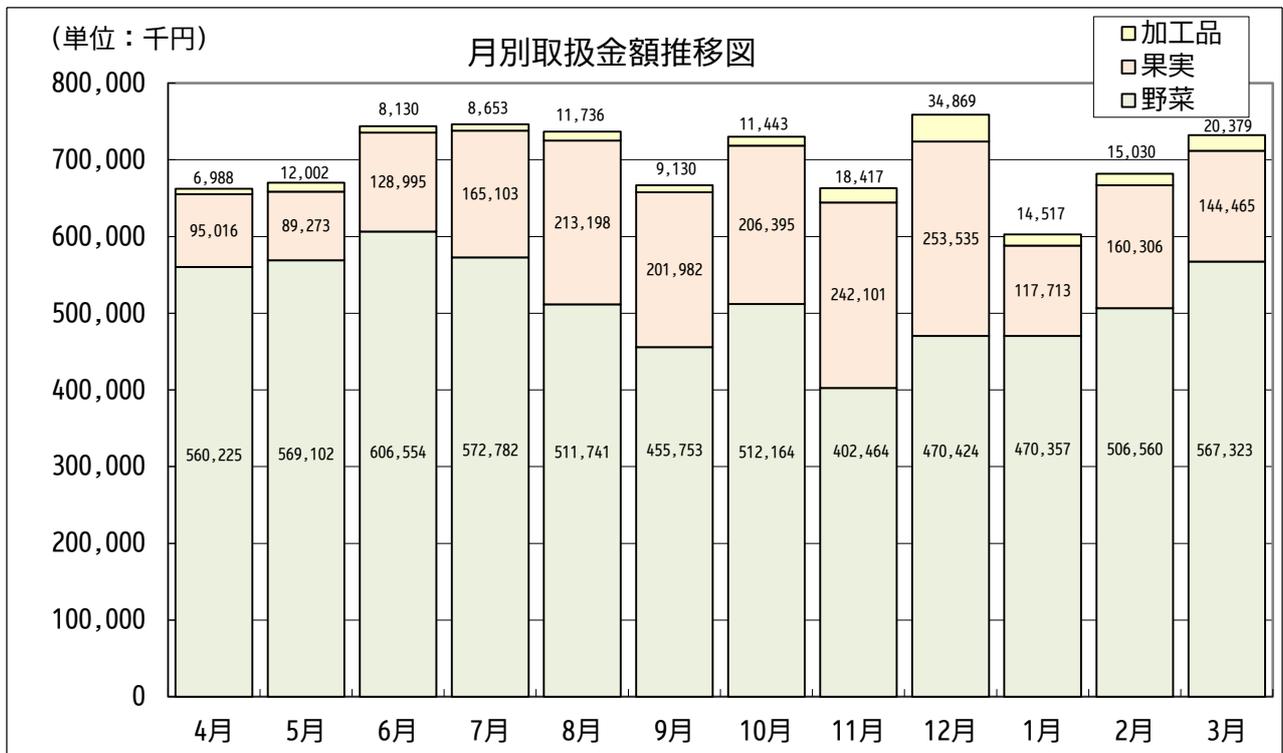
区 分		4月	5月	6月	7月	8月
開場日数(日)		21	21	22	22	20
野 菜	数量(t)	2,296	2,489	2,563	2,457	2,477
	金額(千円)	560,225	569,102	606,554	572,782	511,741
	平均単価(円/kg)	244	229	237	233	207
果 実	数量(t)	310	273	283	352	433
	金額(千円)	95,016	89,273	128,995	165,103	213,198
	平均単価(円/kg)	307	327	456	469	492
加工品	数量(t)	14	19	15	17	16
	金額(千円)	6,988	12,002	8,130	8,653	11,736
	平均単価(円/kg)	499	632	542	509	734
総 計	数量(t)	2,619	2,781	2,861	2,826	2,927
	金額(千円)	662,229	670,377	743,679	746,538	736,675
1日平均 取扱高	数量(t)	125	132	130	128	146
	金額(千円)	31,535	31,923	33,804	33,934	36,834
	平均単価(円/kg)	252	242	260	265	252

※各項目の数値は四捨五入の方法で集計しているため合計と一致しない場合がある



9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
20	23	21	22	19	20	22	253
2,657	3,131	2,774	2,860	2,407	2,487	2,689	31,287
455,753	512,164	402,464	470,424	470,357	506,560	567,323	6,205,449
172	164	145	164	195	204	211	198
454	645	882	984	442	537	474	6,069
201,982	206,395	242,101	253,535	117,713	160,306	144,465	2,018,085
445	320	274	258	266	299	305	333
11	15	22	34	17	30	40	250
9,130	11,443	18,417	34,869	14,517	15,030	20,379	171,293
830	763	837	1,026	854	501	509	685
3,121	3,792	3,678	3,878	2,866	3,054	3,203	37,606
666,865	730,003	662,982	758,829	602,587	681,895	732,168	8,394,826
156	165	175	176	151	153	146	149
33,343	31,739	31,571	34,492	31,715	34,095	33,280	33,181
214	192	180	196	210	223	228	223

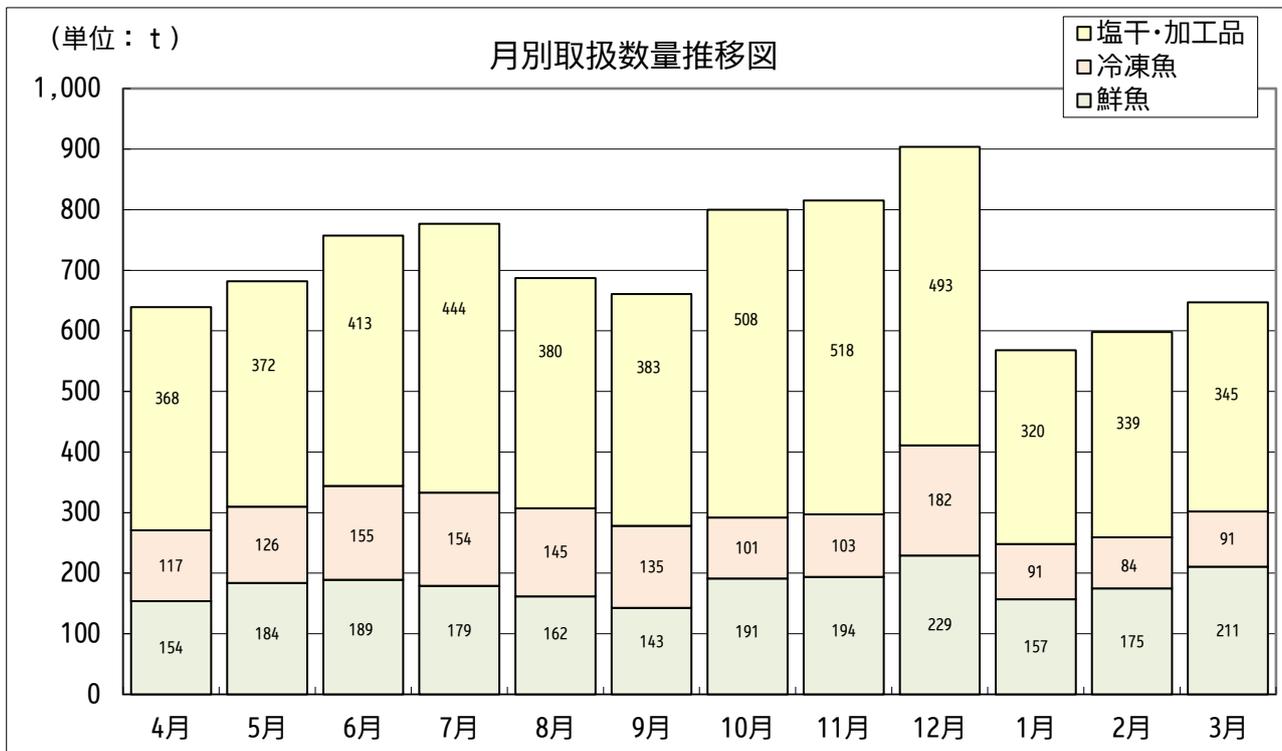
※各項目の数値は四捨五入の方法で集計しているため合計と一致しない場合がある



(2) 水産物部

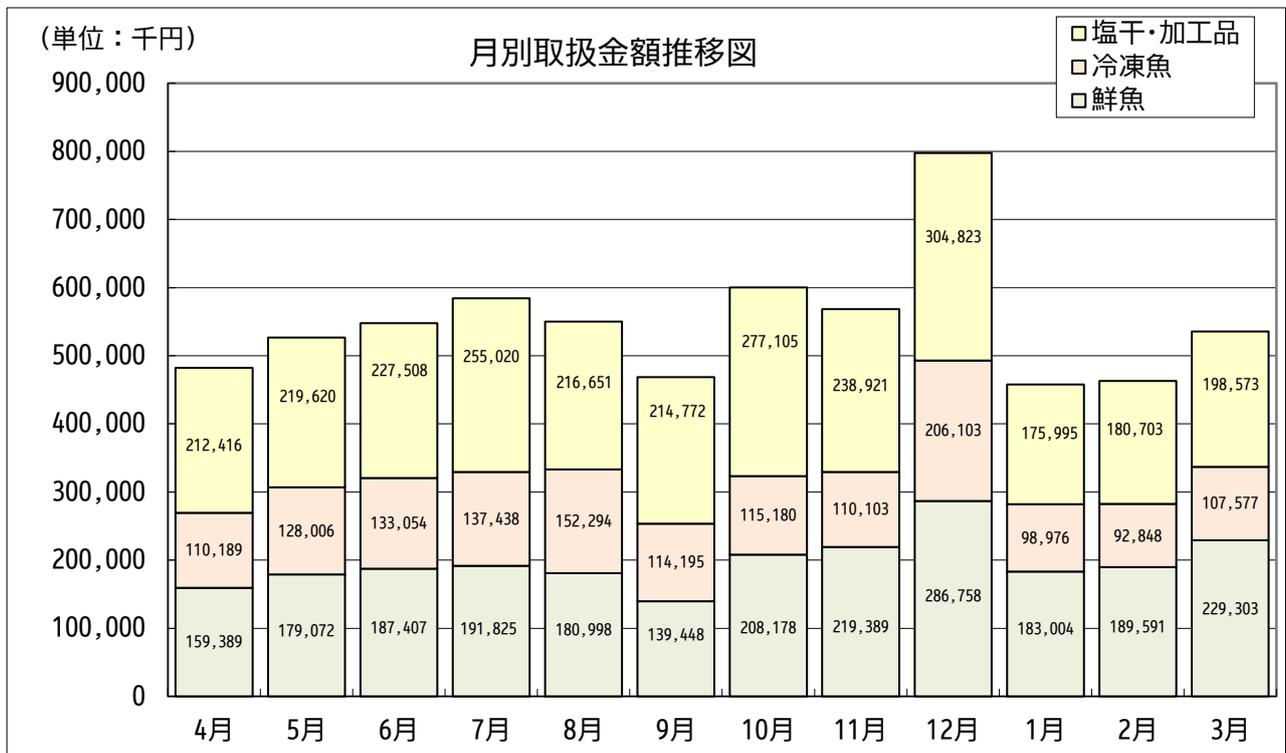
区 分		4月	5月	6月	7月	8月
開場日数(日)		21	21	22	22	21
鮮 魚	数量 ( t )	154	184	189	179	162
	金額 (千円)	159,389	179,072	187,407	191,825	180,998
	平均単価(円/kg)	1,035	973	992	1,072	1,117
冷凍魚	数量 ( t )	117	126	155	154	145
	金額 (千円)	110,189	128,006	133,054	137,438	152,294
	平均単価(円/kg)	942	1,016	858	892	1,050
塩干・加工品	数量 ( t )	368	372	413	444	380
	金額 (千円)	212,416	219,620	227,508	255,020	216,651
	平均単価(円/kg)	577	590	551	574	570
総 計	数量 ( t )	639	682	756	778	687
	金額 (千円)	481,995	526,698	547,969	584,283	549,943
1日平均 取 扱 高	数量 ( t )	30	32	34	35	33
	金額 (千円)	22,952	25,081	24,908	26,558	26,188
	平均単価(円/kg)	765	784	733	759	794

※各項目の数値は四捨五入の方法で集計しているため合計と一致しない場合がある



9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
21	23	21	23	20	20	23	258
143	191	194	229	157	175	211	2,166
139,448	208,178	219,389	286,758	183,004	189,591	229,303	2,354,362
975	1,090	1,131	1,252	1,166	1,083	1,087	1,087
135	101	103	182	91	84	91	1,484
114,195	115,180	110,103	206,103	98,976	92,848	107,577	1,505,964
846	1,140	1,069	1,132	1,088	1,105	1,182	1,015
383	508	518	493	320	339	345	4,884
214,772	277,105	238,921	304,823	175,995	180,703	198,573	2,722,107
561	545	461	618	550	533	576	557
661	801	815	903	569	598	647	8,534
468,415	600,463	568,413	797,684	457,975	463,142	535,454	6,582,432
31	35	39	39	28	30	28	33
22,305	26,107	27,067	34,682	22,899	23,157	23,281	25,513
720	746	694	889	818	772	831	773

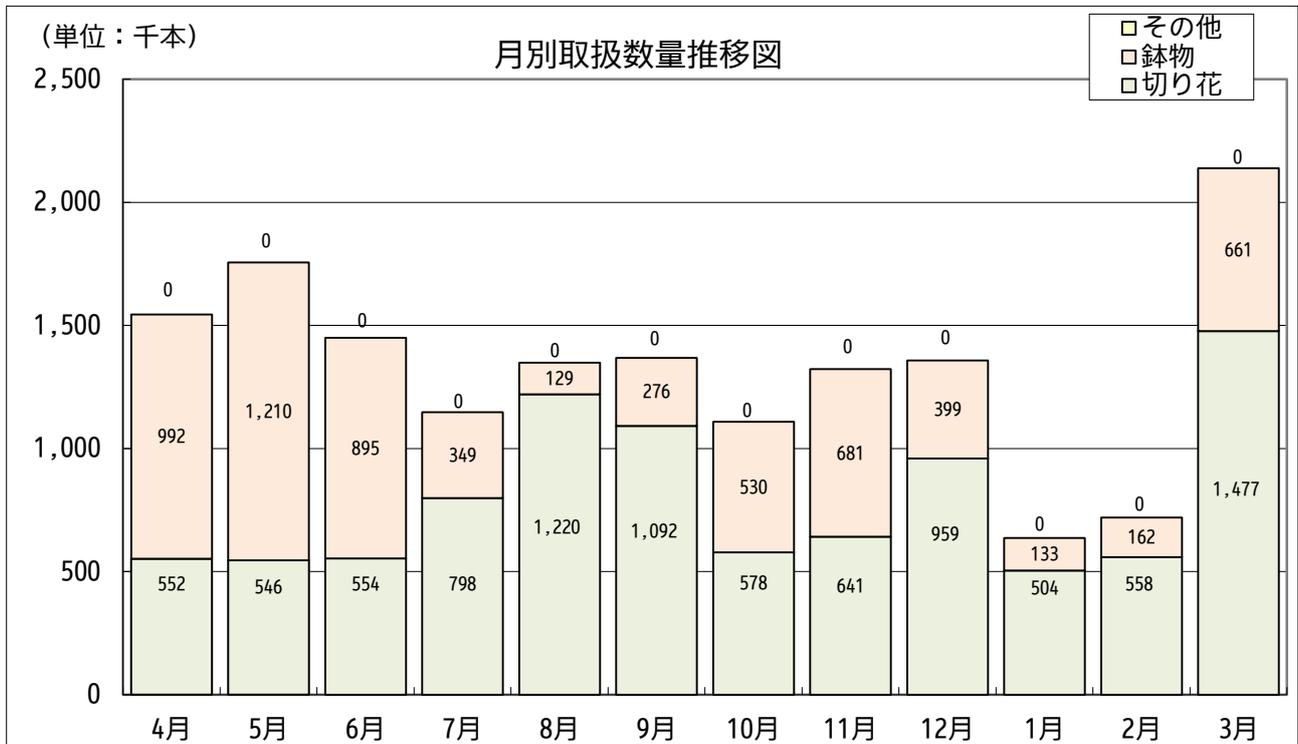
※各項目の数値は四捨五入の方法で集計しているため合計と一致しない場合がある



(3) 花き部

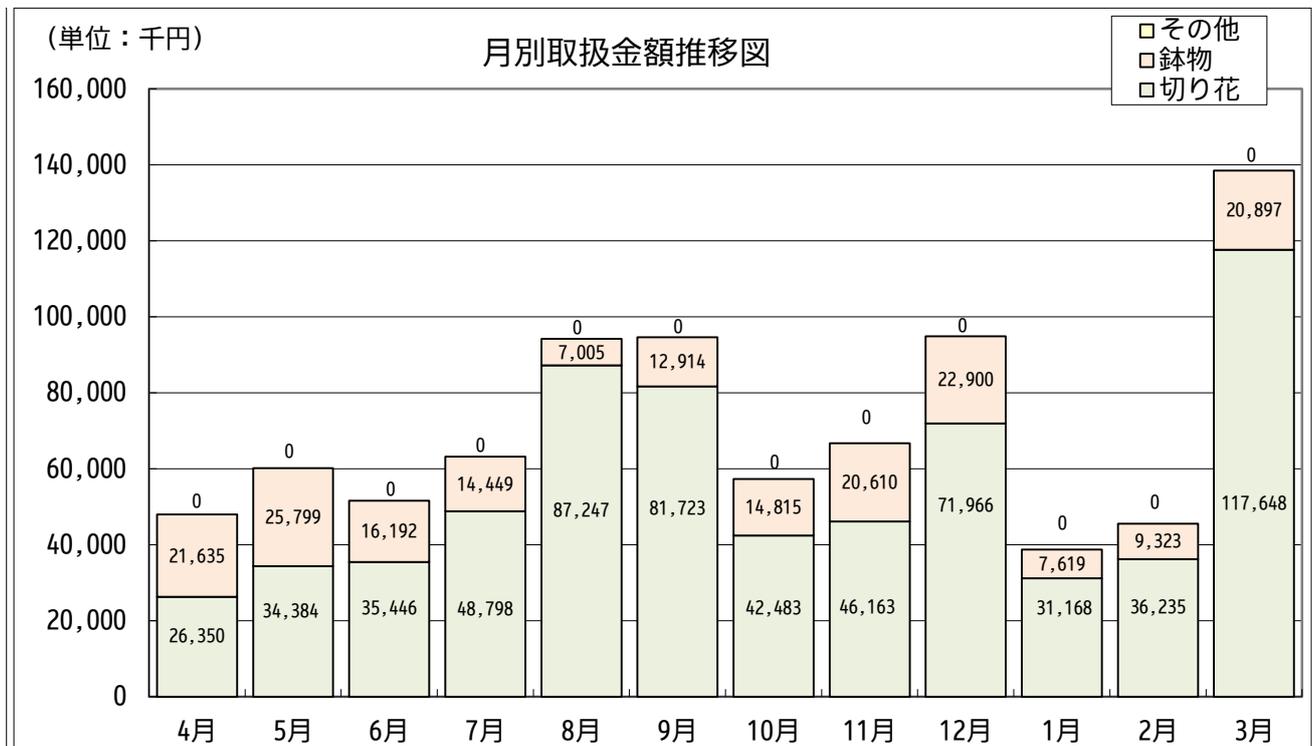
区 分		4月	5月	6月	7月	8月
開場日数(日)		20	21	20	21	19
切り花	数量(千本)	552	546	554	798	1,220
	金額(千円)	26,350	34,384	35,446	48,798	87,247
	平均単価(円/本)	48	63	64	61	72
鉢物	数量(千本)	992	1,210	895	349	129
	金額(千円)	21,635	25,799	16,192	14,449	7,005
	平均単価(円/本)	22	21	18	41	54
その他	数量(千本)	0	0	0	0	0
	金額(千円)	0	0	0	0	0
	平均単価(円/本)					
総計	数量(千本)	1,543	1,756	1,448	1,147	1,349
	金額(千円)	47,985	60,183	51,638	63,247	94,252
1日平均取扱高	数量(千本)	77	84	72	55	71
	金額(千円)	2,399	2,866	2,582	3,012	4,961
	平均単価(円/本)	31	34	36	55	70

※各項目の数値は四捨五入の方法で集計しているため合計と一致しない場合がある



9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
22	22	20	20	18	19	23	245
1,092	578	641	959	504	558	1,477	9,480
81,723	42,483	46,163	71,966	31,168	36,235	117,648	659,611
75	74	72	75	62	65	80	70
276	530	681	399	133	162	661	6,417
12,914	14,815	20,610	22,900	7,619	9,323	20,897	194,160
47	28	30	57	57	58	32	30
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
1,368	1,108	1,322	1,358	637	721	2,138	15,897
94,637	57,299	66,773	94,867	38,787	45,559	138,545	853,771
62	50	66	68	35	38	93	65
4,302	2,605	3,339	4,743	2,155	2,398	6,024	3,485
69	52	51	70	62	63	65	54

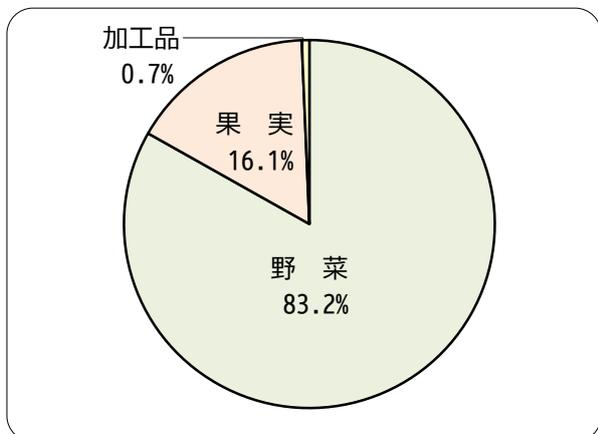
※各項目の数値は四捨五入の方法で集計しているため合計と一致しない場合がある



(4) 令和2年度部門別取扱数量・取扱金額対比表

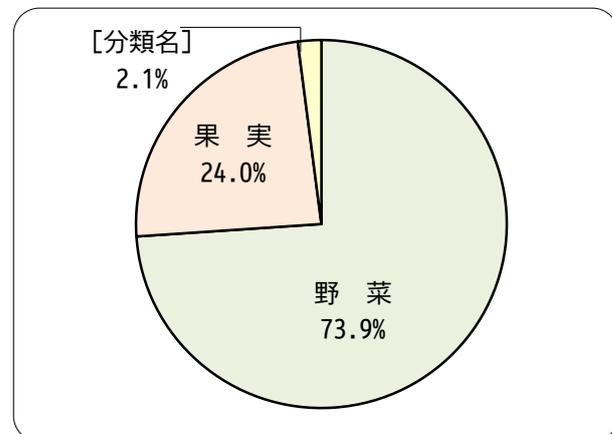
○青果部品目別取扱数量

野菜	31,287 t
果実	6,069 t
加工品	250 t



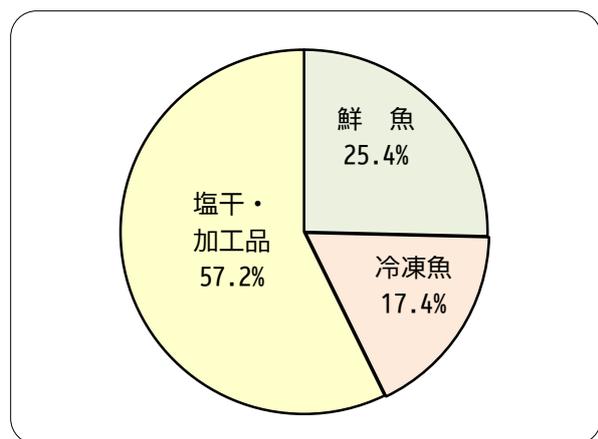
○青果部品目別取扱金額

野菜	6,205,449 千円
果実	2,018,085 千円
加工品	171,293 千円



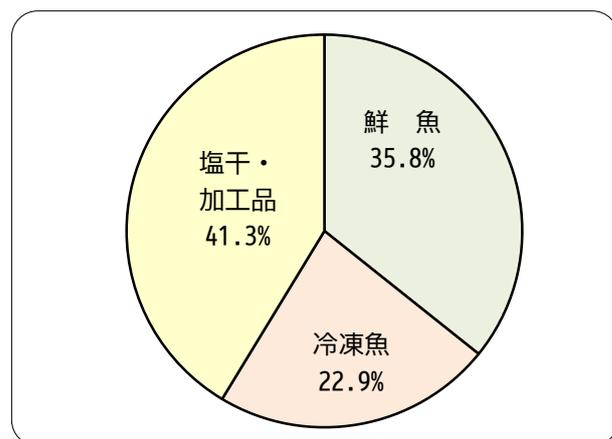
○水産物部品目別取扱数量

鮮魚	2,166 t
冷凍魚	1,484 t
塩干・加工品	4,884 t



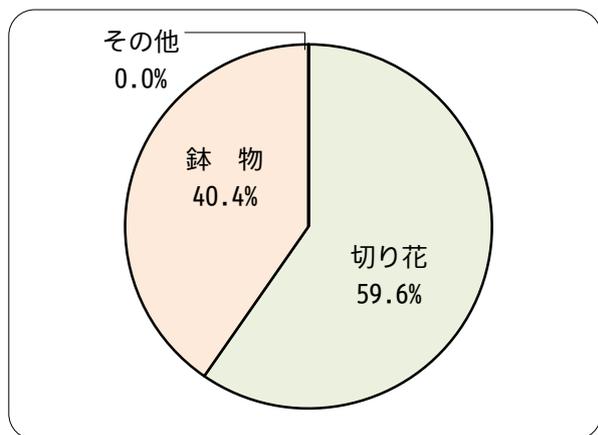
○水産物部品目別取扱金額

鮮魚	2,354,362 千円
冷凍魚	1,505,964 千円
塩干・加工品	2,722,107 千円



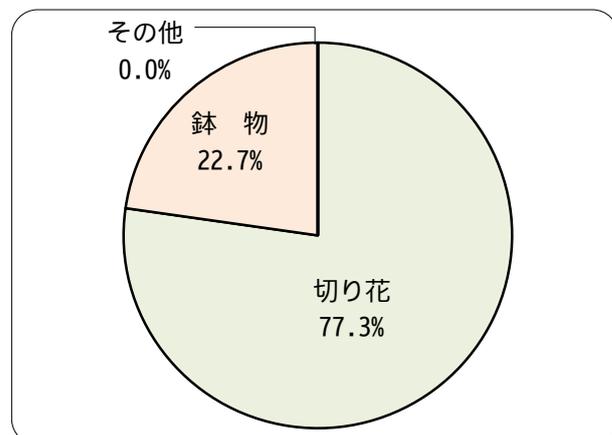
○花き部品目別取扱数量

切り花	9,480 千本
鉢物	6,417 千本
その他	0 千本



○花き部品目別取扱金額

切り花	659,611 千円
鉢物	194,160 千円
その他	0 千円



## 16 令和2年度市場利活用促進事業

### (1)市場の朝市

「市場の朝市」は毎月第4日曜日（12月は第3日曜日）に水産棟売場、管理関連店舗棟において開催しています。

新鮮な水産物や野菜、果物のほか、いくら丼やにぎり寿司などの食品の販売と季節に合わせたイベント等を開催し、毎回多くの人で賑わいます。

例年、年間約5万人の来場者がありますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により中止としました。



(朝市の様子)



(朝市でのイベント：マグロの解体即売の様子)

### (2)ドライブスルー市場

新型コロナウイルス感染症の流行により、各種イベント等が自粛されたことで水産物の需要が減少したことから、水産物の需要喚起のための新たな取り組みとして、一般消費者の方にドライブスルー方式で水産物等を販売する「ドライブスルー市場」を開催しました。

令和2年6月20日を初回に、以降年度内の土曜日に37回実施しました。



(ドライブスルー市場の様子)



(商品の一例)

### (3)夏休み親子市場たんけん隊

卸売市場の役割を広くPRするため、小学校の夏休み期間にこおりやま広域圏在住の小学生と保護者を対象とした、夏休み親子市場たんけん隊を開催しています。

市場内施設の見学のほか、仲卸業者売場でのマグロの解体見学、 $-30^{\circ}\text{C}$ の冷凍庫の体験や模擬セリ等、楽しく学んでいただきます。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の流行により中止としました。



(マグロの解体の見学(令和元年度の様子))



(模擬セリの様子(令和元年度の様子))

### (4)市場料理教室

卸売市場に流通する生鮮食料品を利用した料理教室を市場内のクッキングルームで開催しています。

「魚のさばき方」など市場らしさを実感できる内容とし、料理教室を通じて、魚食普及や生鮮食料品の消費拡大を図るとともに卸売市場の役割をPRしています。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の流行により中止としました。



(調理の様子(令和元年度の様子))



(完成料理：アジのお造り、なめろう(令和元年度の内容))



21世紀を担う食と花の総合流通拠点

## 郡山市総合地方卸売市場

### 市場概要

令和3年6月1日発行

郡山市農林部総合地方卸売市場管理事務所

〒963-0201 福島県郡山市大槻町字向原114番地  
TEL：024-961-1140 FAX：024-961-1124  
E-mail：sijoukanri@city.koriyama.lg.jp

郡山市ウェブサイト  
<https://www.city.koriyama.lg.jp/>



みんなの文字®

この制作物は、みんなの文字を使用しています。  
みんなの文字は、一般社団法人UCDAが「読みやすさ」を認証した書体です。

楽都  
東北のウイーン  
郡山